

【専門分野】

科目名	看護学概論	講師名	副学校長	学	1	履修期	第1学期
単位	1単位			年			
時間数	30時間						
講師実務経験	看護師としての臨床経験、看護管理者および看護行政の実務経験あり。						
授業概要	社会が期待する看護の役割、機能、看護の概念を捉え、看護の位置づけと看護の重要性、看護の専門性と看護の本質を学ぶ。また、看護倫理に関する基本的知識を理解し、倫理的態度形成の基礎を学ぶ。さらに、看護の考え方の基盤としての看護理論について学び、看護実践への活用と結び付けて考える力を養う。						
授業科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の定義、看護の目的と対象、看護の概念について学習し、看護とは何かを理解できる。 2. 社会の変遷と看護の発展について学習し、専門職としての責任、役割、活動が理解できる。 3. 看護倫理の基本的な考え方を学習し、倫理的な看護のあり方について理解できる。 4. 看護理論を学習することにより、看護に対する考え方の基盤が理解できる。 						
授業計画	<p>1回：看護の本質 1) 看護の変遷 2) 看護の定義</p> <p>2回：ナイチンゲールの看護に対する考え方</p> <p>3回：ヘンダーソンの看護に対する考え方</p> <p>4回：看護とは 1) 看護の役割と機能 2) 看護の継続性と連携</p> <p>5～6回：看護の対象の理解 1) 人間のこころとからだを知ることの意味 2) 生涯発達しつづける存在としての人間理解 3) 人間の暮らしの理解</p> <p>7回：国民の健康状態と生活 1) 健康のとらえ方 2) 国民の健康状態 3) 国民のライフサイクル</p> <p>8～9回：看護の提供者 1) 職業としての看護 2) 看護職の資格・養成制度・就業状況 3) 看護職者の継続教育とキャリア開発 4) 看護職の養成制度の課題</p> <p>10～12回：看護における倫理 1) 現代社会と倫理 2) 医療をめぐる倫理の歴史的経緯と看護倫理 3) 看護実践における倫理的問題への取り組み 4) 倫理的問題を考える</p> <p>13～14回：看護の基盤となる看護理論 1) ペプロー 2) オーランド 3) トラベルビー 4) オレム 5) ベナー 6) ロイ</p> <p>15回：看護の基盤となる看護理論（まとめ）1H 終了試験 1H</p>						<p>講義 グループワーク</p> <p>講義 グループワーク</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義 グループワーク</p> <p>講義 グループワーク</p> <p>講義</p>
評価方法	筆記試験（90%）、課題レポート、グループワークの参加状況・成果（10%）						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [1] 看護学概論, 医学書院						
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護覚え書, 一看護であること看護でないこと, 現代社. 2. 看護の基本となるもの, 日本看護協会出版会. 3. 看護者の基本的責務, 定義・概念/基本法/倫理, 日本看護協会出版会. 						
学生へのメッセージ	<p>看護学概論は、専門分野に位置づけられており、看護学を学ぶ導入となる科目である。看護学の基盤をしっかり学ぶとともに、学びをベースとして看護や看護に関連する概念や倫理に対する自分の考えを持ち、看護学を自ら探究する力、主体的に学ぶ力を身につけてほしい。</p> <p>【関連科目】各看護学の概論、在宅療養を支える看護Ⅰ、看護管理</p>						